

保育のチェックリスト話し合い

【個人評価】

(今年度の評価点)

- ・個に応じた養護の配慮をした。子育てが分からない保護者にも丁寧に声掛けをしていった。
- ・フリーでいろいろなところをすぐ見て、気づいて行動している。子どもの健康状態はその日にきちんと担任に伝える。自分から提案をだせるようになったこと。
- ・園の環境を整える。園児の名前、性格等を覚えるよう関わった。
- ・担任の指示や集団行動時、見通しが持てるよう、個別にスモールステップで伝えていくように心がけた。
- ・一人ひとりと丁寧に関わって、信頼関係が築くことができた。

(今年度の課題点)

- ・日々の保育の振り返りから明日につなげる準備等が十分にできないことがある。昼の時間をうまく活用できず、ノンコンタクトもあまりとれなかったことが多い。週案などしっかり案をねり、適切に記入できないことがある。(時間不足)
- ・前もって準備をして、遊びをもう少し広げていきたい。自分のクラスに精いっぱいほかのクラスも大変なのに、助け合えてない。
- ・加配児担当で先回りして考えてしまう。製作などをするときには、早めに計画を立てた方が個々の支援に寄り添える。
- ・関わり多い子、少ない子がどうしても出てきてしまう。家族構成への配慮に慣れていなくてどうしていいかわからないことがある。
- ・様々なクラスにかかわる中で、子どもたちにとって安心できる存在となり、自分らしい保育を通して楽しい時間や経験を共有していきたい。

【クラス運営】

(今年度の評価点)

- ・担任間での情報共有を取ることを意識し、子どもの姿、体調管理などの把握ができている。
- ・新任との保育連携や指導を頑張ってきた。上司や行政との連携を図り共通理解しながら保護者との対応・保育を行っている。

(今年度の課題点)

- ・担任と話し合い、製作、集団遊び等、早めに計画を立てて、本児たちの参加の仕方や関わり方を考えていくようにする。
- ・入所者が増えるので、職員同士声を掛け合って落ち着いて、保育をしていく。保護者との信頼関係をより一層深めていく。
- ・巡回相談に三人上げ、個別支援プランも立てた。今年度は発達支援コーディネーターの養成講座も受けさせてもらうので活かしていきたい。

【園全体評価】

(今年度の評価点)

- ・職員同士が互いの役割や、業務を理解し、支え合いの中で感謝や労いの気持ちを言葉にして伝え合う姿があった。
- ・なかなか時間がとれない園の環境整備を嘱託の先生がほぼやってくださりありがたかった。
- ・指示を受けできることを正しく行えるようにした。わからないことをそのままにしないように務めた。

(今年度の課題点)

◎園の草取り等、フリーの保育士だけでなく、係ない手があきそうな保育士も 16:15～少しでも手伝っていただけたらいいと思う。

正規模みんなで協力してやっていけるよう計画を立てたり、話し合ったりしていく。→環境のことに限らず、嘱

託の先生も含めて全体で話し合える機会があるといい。

- ・クラス担任に声を掛けてもらいクラスに入るが、どこまで入っていいのか迷う。
- ・どこまで自分がやっていいのかわからない。担任の先生の思いもあるし、自分も子どもたちを楽しませたい、やってあげたい意思もある。【当日入るクラスの担任の先生と、前もってやりたいことを話し、前日までにきちんと話し合う時間が欲しい。】
- ・子どもが安心して過ごせるようにフリーの先生たちは転々とするより、固定のクラスに入っていたほうがいいのでは。

ばら（麻美） りんご（知穂） 全体（ゆかり）→固定にして人手が必要な時は動いてもらう

- ・子どもたちが安心して過ごせるために、乳児は配膳から寝かしつけまで固定のクラスに入る。
- ・食事だけではなく、現場に入って保育士の動き子どもの様子を見てアドバイスを頂きたいです。
フリーとしての気づきで、文面や口頭で聞くのも大事だが、実際に現場に入ることによって気づくことがある。課題として、気づきを担任の先生とだけでなく、周りに伝えていく必要がある。
- ・現場の立場から考えると嘱託職員も保育を行い、子どもが安全に過ごせるよう配慮したい。
- ノンコンタクトを取ることができない現状。「ノンコンタクト」という肩書で中身がないのではないかと思う。
→ノンコンタクトは子どもから離れる時間。とれる体制は整えてあるので自分たちで調整して取ってほしい。
- 回覧が嘱託の職員に回ってくるのがとても時間がかかる。→会議の回覧は嘱託の職員から先に回す。嘱託の職員に伝えてくれる正規の職員とのペアを作った方がいいのでは？

→会議に参加しないペアの嘱託の先生には必ず口頭で伝える。（園内研で気を付ける個についても）

【個人評価】

〈評価点〉

- ・今までの経験を活かし、一年目であっても園の方針や一日の流れを把握し即戦力として動くことができた
- ・一人ひとり丁寧にに関わり、早期に子どもたちと愛着関係を築くことができた
- ・保育に関する意識が高まり、自分で考えて行動や、発信ができるようになった
- ・子どもたちが安心して過ごせるよう、環境整備に力を入れることや、保育補助をすることができた
- ・わからないことなどがあった時や計画を立てるとき、保育指針を見るようにした
- ・保育士と保護者の育てたい思いや育てる環境に違いがあったが、配慮して保育を行った
- ・子どもの人権を大事にする保育を心掛けている
- ・経験を活かし、子どもの思いを受け止めつつ、やることを伝えて上手に気持ちの切り替えができるような言葉掛けができている
- ・子どもに合った支援方法でコミュニケーションが取れるよう工夫している
- ・加配の先生が入ってくれたおかげで、加配児に対しての援助などの話し合いが十分にできた

〈課題点〉

- ・行事や事業団ならではの、細かな手順、地域の特性に応じた配慮などが十分に学びきれていない
- ・自分の経験に固執せず、園の良い取り組みを吸収しながら、職員間の日々のコミュニケーションを大切にしながら、より主体的に動けるよう自己研鑽を重ねたい
- ・子どもたちの発達に見合った主体的な活動や遊びを展開していく
- ・指針の内容や園の方針、保育理念を十分に理解できていないので、日々の保育の中でどの項目に当てはまるかなどを考えながら取り組む
- ・周囲の状況を把握し、補助が必要な場面で速やかに入れるようにしたい
- ・保育士と保護者で思い違いがあったので、保護者と思いを伝え合っていく
- ・環境設定が後回しになってしまうことがある

【クラス運営評価】

〈今年度の評価点〉

- ・ 主担任がクラス運営を引っ張っていけるよう、一歩引いた視点からサポートした
- ・ 送迎時に家庭での様子を聞くことや、園での様子を具体的に伝えることを心掛けた
- ・ 担任間での連携が取れていて、子どもの姿、成長していることの共通理解ができている
- ・ 遊びや環境もその時の子どもの姿から計画でき、手作り玩具等も作れている
- ・ 担任との連携のおかげで、自分が不在時の子どもの様子も分かり、その日の子どもとの関わり方に活かすことができている

〈課題点〉

- ・ 子どもの発達に合わせた環境構成を、自身の経験を活かし、提案していきたい
- ・ 主担任のサポートだけでなく、保育の質を共に高めていけるよう、能動的にアイディアを共有していく
- ・ 他クラスのペースに合わせてしまい、自分のクラスの子の思いのサインに気づいてあげることができなかった為、優先順位を整理し、子どもの気持ちに寄り添った対応をしていきたい
- ・ 同じ思いで保育していけるよう話し合いをしていきたい
- ・ クラスや子どもの様子をドキュメンテーション等で伝えて、保護者との関係作りをしていきたい
- ・ 子どもの発達に合った手作り玩具や、遊びの工夫を増やしていく
- ・ 子どもの行動を把握しているつもりだが、不十分の時間がある
- ・ 制作物や遊びなど、思いつきで提供してしまうので、事前に準備を行ったり、加配の先生と相談したりしていく

【園全体】

〈今年度の評価点〉

- ・ 園の理念や、毎日の動きを理解し、周囲の職員との連携を図った
- ・ 職員間の情報共有の場では、先を見越したサポートを行い、園全体の円滑な運営に寄与した
- ・ 子ども達を一番に考えて、環境構成や活動内容を考えることができた
- ・ 職員が協力しながら保育を行い、子どもたちが安心して過ごせる環境作りができた
- ・ 異年齢児との関わりが持てるよう、連携を取り合っている
- ・ 地域の方に声を掛けていただき、地域との関係作りが出来つつある
- ・ フリーの先生方が、園の環境を整えてくれていることで、助けられている
- ・ 野菜の栽培や、日陰作り等、環境設定に力を入れることができている

〈課題点〉

- ・ 予想される大きな行事等においての、役割分担や地域特性に応じた子育て支援の在り方について理解を深めていく
- ・ 園全体の保育の質の向上や、円滑な行事運営に向け、積極的に意見交換をしていきたい
- ・ 支援が必要な園児等の、情報交換を保育者間でする必要がある
- 補助に入るタイミングが職員間で、違いがあるので、必要なタイミング等を話し合い、連携を取れるようにしていきたい
- 回覧が囑託の先生に回らないことがあるので、早めに回覧を回すようにすることと、説明する時間を設けて、園の情報共有を行った方が良い
- ・ 囑託の先生の主体性も大事にしていく。
- ・ 担任だけでなくみんなで子どもを見るようにした方が良い。
- ・ フリーと言う括りではなく、フリーの先生も担当クラスなどを決めておく方が、困った時に、声を掛けやすい。
- 色々な先生が入ることも良いことだが、配膳をローテーションせずに固定した方が配膳しやすい？→話し合う

・丁寧な保育を心掛けるためにも、子どもに手を掛けることが大事だと思う

・子どもたちが安心して生活できるようになってきている。

・子どものことを保護者に細かく伝えるようにしている。

・幼児は連絡帳がないので、意識して口頭で伝えるようにしている。

・言葉で伝えられない子もいるので、思いを丁寧に受け止めていくようにしたい。

・その子にとって何をしてあげるのが一番いいのか考えるようにしている。

・フリーなのでクラスに入った時にどういう補助ができるか考えたり、担任の先生の思いを汲んだりするようにしている。

・フリーの立場、役割を明確にしていくことが大事だと思った。

・担任の先生だけで抱え込まないように話を聞いてコミュニケーションを取るようにしている。

・異動して来たばかりなので、前の園の保育を活かしながら新しいことを学ぶことを大切にしている。

・園のやり方や物の場所もわからないことばかりなので、もどかしい気持ちもあるが、聞きながら行っていく。

・複数担任なので、クラスの先生と声を掛けながら保育を行っている。その中で言葉使いや、声掛け、自分自身の保育を見つめなおしながら、保育を行うようにしている。

・給食の配膳の時に入っていただいているので助かっている。

・嘱託の先生がたくさんいてくれるのでとても助かっている部分が多いが、やってもらって当たり前ではないので、自分から仕事に気付いていくようにしたい。

★フリーの先生がいてくれて草むしりや園の仕事などをやってもらっていて助かっているが、担任の思いと園長先生、主任の思いが食い違っている部分を感じるので、話し合いをして思いを伝える機会があるといいかなと思う。

→乳児、幼児部会を開催し嘱託の先生、園長、主任も話し合いに参加し思いを伝え合える場を設ける

★室内の環境をどう整えていくかが難しい。手作りおもちゃを作りたいと思ってもすぐに取り掛かれないことが反省。

★手が出てしまう子に目が行きがちなので、子どもたちを全体的に見ていく。

★幼児の行事が多く、幼児の先生の負担が大きくなってしまっている。準備の手伝いなど早めに気付いてやっていきたい。

★保育所保育指針をもっと読み込んでいくべきだと感じた。

★自分のクラスだけではなく、隣同士のクラスとも声を掛け合いながら保育を行っていきたい。

◎→今後も続けていきたいこと

【フリーの先生との話し合い】

・休む担任の代わりに入る場合→前日までに入ってくれる先生を知らせ、保育内容を伝え合える場を設ける。

・手作りおもちゃなどを用意しておきたい

・戸外遊びを見守りながら子どもと遊ぶようにする。

・入室の手伝いをする。

・戸外に出るまでの室内の活動は担任がやり、その間は掃除や作り物をする。

・夏はプールの監視を頼むことはある。